

【原書論文】

受理西暦	和暦	受理月日	題名	雑誌名	掲載年	刊号	掲載ページ	著者名					
1994年	平成6年	April	Effects of fetal calf serum in culture medium on development of bovine oocytes matured and	Theriogenology	1994	41	1091-1098	Jeong Mook Lim	Osamu Okitsu	Kiyoshi Okuda	Koji Niwa		
2000年	平成12年	6月9日	Activation of bovine oocytes matured in vitro by injection of bovine and human spermatozoa or their cytosolic fractions	Zygote	2001	9	89-95	Osamu Okitsu	Shuji Yamano	Toshihiro Aono			
2011年	平成23年	7月29日	Intrauterine administration of autologous peripheral blood mononuclear cells increases clinical pregnancy rates in frozen/thawed embryo transfer cycles of patients with repeated implantation failure	Journal of Reproductive Immunology	2011	92	82-87	Osamu Okitsu	Machiko Kiyokawa	Takashi Oda	Kaoru Miyake	Yukiyasu Sato	Hiroshi Fujiwara
2014年	平成26年	January	The effect of minimal concentration of ethylene glycol (EG) combined with polyvinylpyrrolidone (PVP) on mouse oocyte survival and subsequent embryonic development following vitrification.	J Assist Reprod Genet.	2014	31(1)	55-63	Wang Y	Okitsu O	Zhao XM	Sun Y	Di W	Chian RC
2015年	平成27年	September	Relationship between human spermatozoa motility and enzymatic reactivity	Fertility and Sterility	2015	104(3)	e239	K. Matsuura	Osamu Okitsu	Junichi Komiya			

【和論文】

受理西暦	和暦	受理月日	題名	雑誌名	刊号	掲載ページ	著者名						
1999年	平成11年		当院における卵細胞質内精子注入法(ICSI)の臨床成績	臨床エンブリオロジストの会雑誌	2	27-31	沖津 撰						
2002年	平成14年		初期分割のグレードが胚盤胞形成におよぼす影響	臨床エンブリオロジストの会雑誌	5	45-48	浅野敦之	沖津 撰					
2002年	平成14年		Humegon 150添加培地におけるヒト卵子ならびに初期胚の透明帯消化に及ぼす諸要因の検討	日本受精着床学会雑誌	19巻1号	185-188	沖津 撰	浅野敦之	小松淳子	國方建児	三宅 馨		
2008年	平成20年	10月30日	ヒトにおける凍結融解精子を用いたconventional IVFの試み	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	10	40-44	沖津 撰	小橋未和	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨		
2009年	平成21年	1月7日	精子への不動化処理法がヒトICSIにおける受精と初期胚発生に及ぼす影響	日本受精着床学会雑誌	26	82-87	沖津 撰	小橋未和	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨		
2009年	平成21年	7月29日	Assisted hatchingの施行が胚移植におけるpush out操作後のcracking発生頻度と胚の生存性に及ぼす影響	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	11	12-17	沖津 撰	森脇良夢	高橋沙織	小橋未和	三宅 馨	畠山朋之	岩城雅範
2009年	平成21年	12月17日	初期胚の体外培養期間の延長がART出生児の体重および性比に及ぼす影響	日本受精着床学会雑誌	27	281-285	沖津 撰	高橋沙織	森脇良夢	小橋未和	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨
2010年	平成22年	7月15日	胚移植時のpush-out操作によって胚が受ける物理的ストレスに対するEmbryoGlue [®] の保護効果	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	12	45-49	沖津 撰	森脇良夢	高橋沙織	小橋未和	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨
2011年	平成23年	12月13日	体外培養時の集団培養ならびに胚密度が着床前ヒト初期胚発生に及ぼす影響	日本受精着床学会雑誌	29	41-44	沖津 撰	坊野沙織	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2012年	平成24年	6月13日	凍結保存液中に含まれるDMSOのPROHへの置換がガラス化法によるヒト胚盤胞の凍結融解後の生存	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	14	5~8	沖津 撰	小見山 純一	清川 麻知子	小田隆司	三宅 馨		
2013年	平成25年	10月5日	ARTラボラトリーにおけるインキュベータの定期的な内部精密検査の必要性	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	15	19~23	沖津 撰	小見山 純一	坊野沙織	清川 麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2013年	平成25年	11月27日	液体窒素タンク内に混入した夾雑物に対する一般細菌検査	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	15	27~30	沖津 撰	小見山 純一	坊野沙織	清川 麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2014年	平成26年	10月10日	胚盤胞移植における2種類の胚移植用ヒアルロン酸含有培養液の有用性について	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	16	1~4	沖津 撰	小見山 純一	坊野沙織	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2016年	平成28年	10月17日	再媒精によるcIVF周期での未受精卵の救済	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	18	1~3	沖津 撰	小見山 純一	清川 麻知子	小田隆司	三宅 貴仁		
2017年	平成29年		アメリカ不妊学会(ASRM)2016への参加報告	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	19(2)	11~13	沖津 撰	小見山 純一	清川 麻知子	小田隆司	三宅 貴仁		
2019年	平成31年		再媒精時の添加精子数がcIVF周期での未受精卵の救済効率に及ぼす影響	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	21	in press	沖津 撰	小見山 純一	林 雄平	酒本 あい	清川 麻知子	小田隆司	三宅 貴仁

【依頼稿】

西暦	和暦	掲載月日	題名	雑誌名	刊号	掲載ページ	著者名
1998年	平成10年	1月	未熟卵子の体外成熟培養	臨床エンブリオロジストの会雑誌	1	17-20	沖津 撰
1999年	平成11年	1月	哺乳動物受精卵の体外培養 -In vitro culture of mammalian embryos-	臨床エンブリオロジストの会雑誌	2	32-37	沖津 撰
2000年	平成12年	1月	緩慢凍結法によるヒト胚盤胞の凍結保存	臨床エンブリオロジストの会雑誌	3	19-26	沖津 撰
2001年	平成13年	1月	Is cytoplasmic fragmentation observed in human early embryos correlated with apoptosis?	臨床エンブリオロジストの会雑誌	4	1-8	沖津 撰
2002年	平成14年	9月	不妊治療の現状と問題点	岡山実験動物研究会報	19	13-18	沖津 撰 三宅 馨
2004年	平成16年	5月	卵の人為的活性化の意義	日本臨床エンブリオロジスト研究会雑誌	7	25-30	沖津 撰
2007年	平成19年	4月5日	第12回 日本臨床エンブリオロジスト学会 ワークショップ・総会・学術講演会を終えて	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	9	2-3	沖津 撰
2008年	平成20年	3月11日	良好胚の選択	Journal of Mammalian Ova Research	25	90-97	沖津 撰
2011年	平成23年	10月31日	良い卵・不良卵の見方	日本臨床エンブリオロジスト学会雑誌	13	12-17	沖津 撰

【専門書籍執筆】

西暦	和暦	発行日	書籍名	担当セッション	出版社	掲載ページ	執筆者
2000年	平成12年	7月1日	ARTラボラトリー 不妊治療の新しい展開のために	10. ICSIの実際と注意点① (p180-183)			
2005年	平成17年	1月10日	エンブリオロジストのためのART必須ラボマニュアル	ラボワークの実際 顕微授精 (ICSI) (p44-49)	医歯薬出版株式会社		沖津 撰
2006年	平成18年	3月	コメディカルのためのARTマニュアル	胚評価法	永井書店		沖津 撰
2006年	平成18年	7月	月刊『Medical Technology』34巻7号	特集:「生殖医療とエンブリオロジスト」6.ICSIの技術について	医歯薬出版株式会社		沖津 撰
2009年	平成21年	11月	臨床婦人科産科	胚培養技術の進歩	医学書院	63巻1394-1401	沖津 撰
2010年	平成22年	1月10日	カラーアトラス 不妊診療のための卵子学	<Theory> 10. 受精卵のクオリティ	医歯薬出版株式会社		沖津 撰
2010年	平成22年	12月2日	WHO・ラボマニュアル「ヒト精液検査と手技」改訂5版	編集	株式会社 岡英社		沖津 撰
2011年	平成23年		生殖卵巣学-基礎知識と臨床の伸展	5. 補助的生殖医療-up to date (1) IVF-ET	医歯薬出版株式会社		沖津 撰
2011年	平成23年	12月	IVF J News	胚盤胞培養と着床			沖津 撰
2013年	平成25年		臨床婦人科産科	ART成功の秘訣-どうすれば妊娠率は向上するか 7.胚凍結法	医学書院	特集67巻10号(2013年10月号)	沖津 撰
2013年	平成25年	11月	今日の不妊診療	胚培養法	医歯薬出版株式会社	177-180	沖津 撰
2018年	平成30年		臨床婦人科産科	いまさら聞けない 体外受精法と胚培養の基礎知識 5) 良好胚盤	医学書院	73巻3号	沖津 撰
2018年	平成30年		『新 不妊ケア ABC』	Chapter 8 不妊症ケアの医療チーム 1) エンブリオロジスト	医歯薬出版株式会社		沖津 撰

【口頭発表】

西暦	和暦	開催月日	題名	学術大会名	開催地	演者						
1998年	平成10年	7月10日	ウシおよびヒト精子ならびに精子抽出液の顕微注入による体外成熟ウシ卵子の活性化	第16回 日本受精着床学会	沖津 撰	安部和美	杉原由美	粟井啓子	國方建児	三宅 馨	山野修司	青野敏博
2001年	平成13年	7月13日	HMG製剤 (Humegon 150) 添加培地におけるヒト卵母ならびに初期胚の透明帯消化に及ぼす諸要因の検討	第19回 日本受精着床学会	神奈川県 沖津 撰	浅野敦之	小松淳子	國方建児	三宅 馨			
2001年	平成13年	11月8日	Humegon 150添加培地内での透明帯消化処理によるヒト脱出不全胚盤胞の救済	第46回 日本不妊学会	東京都 沖津 撰	浅野敦之	小松淳子	國方建児	三宅 馨			
2003年	平成15年	10月1, 2日	Inositol 1,4,5-trisphosphateの顕微注入によるヒト卵母の活性化	第48回 日本不妊学会	東京都 沖津 撰	藤澤祐子	浅野敦之	國方建児	三宅 馨			
2005年	平成17年	11月16-18日	頭部凹形精子とInsP3あるいはMgTPSSとの共注入によるヒト接合子の生産	第50回 日本不妊学会	熊本県 沖津 撰	長谷川裕晃	小橋未和	國方建児	三宅 馨			
2006年	平成18年	10月14, 15日	初期胚の体外培養期間の延長がART児の性比、奇形の有無および出生時体重に及ぼす影響	第9回 日本IVF学会	大阪府 長谷川裕晃	小橋未和	沖津 撰	國方建児	三宅 馨			
2007年	平成19年	8月7日	凍結融解精子を用いたcIVFの試み	第44回 日本生殖医学会中国四国支部会	岡山県 小橋未和	沖津 撰	長谷川裕晃	國方建児	三宅 馨			
2007年	平成19年	8月30, 31日	胚盤胞の胞胚穿刺収縮が緩慢法による凍結融解胚盤胞移植の臨床成績に及ぼす影響	第25回 日本受精着床学会	宮城県 長谷川裕晃	小橋未和	武南麻徹	沖津 撰	國方建児	三宅 馨		
2008年	平成20年	8月28, 29日	精子への不動化処理法がICSIにおける受精と初期胚発生に及ぼす影響	第26回 日本受精着床学会	福岡県 沖津 撰	小橋 未和	清川 麻知子	小田 隆司	三宅 馨			
2009年	平成21年	8月29日	基礎培地に添加するアルブミンの脱イオン化が	第46回 日本生殖医学会中国四国支部会	岡山県 小橋 未和	沖津 撰	清川 麻知子	小田 隆司	三宅 馨			
2010年	平成22年	1月9, 10日	胚移植時のpush-out操作によって胚が受ける物理的ストレスに対するEmbrvoGlueの保護効果	第16回 日本臨床エンプロロジスト学会	東京都 森脇良夢	坊野沙織	小橋未和	沖津 撰	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2011年	平成23年	8月	Percollを用いた精子回収法における新デバイスの有効性の検討	第47回 日本生殖医学会中国四国支部会	岡山県 坊野沙織	森脇良夢	小見山純一	沖津 撰	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨	
2012年	平成24年	8月30日-9月2日	Rescue of unfertilized human eggs after ICSI by artificial activation with ionomycin	The 3rd Congress of ASPIRE 2012	大阪府 大分県	Osamu Okitsu	Saori Bouno	Junichi Komiyama	Machiko Kiyokawa	Takashi Oda	Kaoru Miyake	
2013年	平成25年	8月8, 9日	液体窒素タンク内に混入した夾雑物に対する一般細菌検査	第31回 日本受精着床学会 (別府市)	大分県 沖津 撰	小見山純一	坊野沙織	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨		
2013年	平成25年	8月24日	Ionomycinを用いたICSI後未受精卵の救済	第49回 中国四国生殖医学会 学術講演会	岡山県 沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨			
2013年	平成25年	11月15, 16日	卵丘細胞による発生培地の馴化がヒト分割期胚の胚盤胞形成率に及ぼす効果	第58回 日本生殖医学会 (神戸大会: 神戸国際会議場)	兵庫県 沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 馨			
2016年	平成28年	9月	再凍精によるcIVF周期での未受精卵の救済	第34回 日本受精着床学会	沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 貴仁			
2017年	平成29年	11月14日	Water-jacket型インキュベータを用いたドライ環境下でのヒト初期胚発育	第62回 日本生殖医学会	山口県 沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 貴仁			
2018年	平成30年	9月6日	cIVF周期における再凍精での受精率改善の試み	第63回 日本生殖医学会	北海道 沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 貴仁			
2018年	平成30年	12月1日	cIVF周期における再凍精での受精率改善の試み	第1回 神和メディカルセミナー (BBプラザ)	兵庫県 沖津 撰	小見山純一	清川麻知子	小田隆司	三宅 貴仁			

【依頼公演】

西暦	和暦	月日	題名	学術大会名	開催地
2000年	平成12年	秋	ハイハイに胚盤胞移植はなぜ必要か？ 胚盤胞移植のクオリティコントロール	IVFコーディネーター養成講座	東京都内
2002年	平成14年	9月	精子抽出液ならびにD-myosin[1.4.5]P3の顕微注入によるウシおよびヒト卵子の活性化	ARMT Forum	東京都内
2003年	平成15年	8月	酸性HTFおよびHumegon 150を用いた化学的透明帯消化法	第21回 受精着床学会 モーニングセッション	東京都内
2003年	平成15年	秋	卵子活性化 - 生命誕生のKeyを理解する -	IVFコーディネーター養成講座	東京都内
2004年	平成16年	1月	卵子の人為的活性化の意義	第9回 日本臨床エンブリオロジスト研究会	静岡県浜松市内
2004年	平成16年	7月	今日の生殖医療の現状と問題点	岡山実験動物研究会	重井病院付属研究所
2004年	平成16年	11月	生殖医療の現状とバイオテクノロジー	日本染色体学会	岡山大学北区津島中
2005年	平成17年	7月3日	連続的胚評価の試み	岡山ART Forum	倉敷成人病センター
2005年	平成17年	7月23, 24日	ラボ管理 - Sequential Evaluation of Human Embryos -	生殖バイオロジー 東京シンポジウム	都市センターホテル
2007年	平成19年	7月5, 6日	ICSIとEpigenesis	日本アンドロロジー学会	千葉県 アンバサダーホテル
2007年	平成19年	8月30, 31日	胚評価法の有効性についての検討	第25回 日本受精着床学会 「エンブリオロジスト最前線」	宮城県仙台市
2007年	平成19年	9月30日	私はこうする ～探卵～	日本IVF学会	横浜市 パシフィコ横浜
2007年	平成19年	11月3, 4日	良好胚の得られるART反復不成功症例への対策	中日ART反復不成功症例 検討会	中国 広州 南方病院
2009年	平成21年	3月28日	卵子の見方	第2回 東北ART研究会	宮城県医師会館
2009年	平成21年	5月30, 31日	Session 4 「胚盤胞培養のキーポイント」 演題名：「当院における胚盤胞培養の実践」	第6回A-PART日本支部、 第3回Minimal Stimulation研究会 合同学術議	シェーンパッハ・サボー
2009年	平成21年	6月6日	種々の精子処理法とその有効性の検討	第3回北海道生殖医療研究会	札幌京王プラザホテル
2009年	平成21年	7月26日	種々の精子処理法とその有効性の検討	第8回生殖バイオロジー東京シンポジウム	日本都市センターホテル
2009年	平成21年	8月6, 7日	コメディカル間の情報共有強化によるEvidence-based ARTの実践	第27回日本受精着床学会 ワークショップ3「ラボ業務のレベルアップを 更に高める方策」	国立京都国際会館
2009年	平成21年	8月29日	Blastocyst cultureはどうかあるべきか？	神戸ART懇話会	高知市内
2009年	平成21年	11月11日	ARTの妊娠率向上のために ～ラボからの情報発信～	高知県生殖医療懇話会	高知市内
2010年	平成22年	3月18日	妊娠率向上のためのラボからの提言	鳥取不妊若手の会 (TIRP)	鳥取市内
2010年	平成22年	8月20日	Protective effect of EmbryoGlue on embryos from blastomeres disperse induced by physical stress during embryo transfer	Vitrolife seminar	大阪府内
2010年	平成22年	11月10-12日	ARTラボクオリティの継続的向上のための中長期戦略	第55回 日本生殖医学会	徳島市内
2011年	平成23年	1月8, 9日	良い卵、不良卵の見方	第16回 日本臨床エンブリオロジスト学会	福島市内
2011年	平成23年	3月18日	不妊治療、特にARTの現状と将来展望	株式会社JMS 社内セミナー	株式会社JMS社内(広島市内)
2011年	平成23年	6月5日	妊娠率向上のためにART laboratoryに求められるquality control	第28回 日本不妊カウンセラー養成講座	ニッショーホール
2011年	平成23年	7月10日	受精の効率向上のための施策	第7回 東京受精・胚培養研究会 学術講演会	東京国際フォーラム
2011年	平成23年	7月16日	不妊治療、特にARTの現状と問題点	東京都検査技師会主催講演会	東京都内
2011年	平成23年	12月7日	Sperm selection for ICSI by cervical mucus penetration	Nanjing International Symposium and Workshop	Nanjing Medical University
2012年	平成24年	1月28日	エンブリオロジストとしての着床率向上のための試み	東海不妊内分泌研究会	静岡市内
2012年	平成24年	3月3日	“受精ゼロ”回避と救済のための対策	第8回 ART生涯研修コース	ベルサール九段
2012年	平成24年	6月8日	難治性男性不妊への取り組み	第11回 日本不妊カウンセリング学会	ニッショーホール
2012年	平成24年	7月7日	ART Laboratoryにおける最近の話題	第10回 岐阜ARTセミナー	岐阜市内
2012年	平成24年	8月25日	臨床エンブリオロジストのための最近のトピックス	第14回 横浜ART研究会	横浜市内
2012年	平成24年	11月26日	生殖補助医療の現状	ノートルダム清心大学 特別講義	ノートルダム清心大学内講義室
2013年	平成25年	8月8, 9日	ラボ業務のトラブルシューティング	第31回 日本受精着床学会 ランチョンセミナー	別府コンベンションセンター
2013年	平成25年	9月7, 8日	卵子の老化に配慮した未受精卵救済の試み ～rCSI, rAOA実施時期早期化の効果～	第16回 日本IVF学会	パシフィコ横浜
2015年	平成27年	10月17日	生殖医療の最前線 ～生命の始まりを見つめる～	講義	ノートルダム清心女子大学
2016年	平成28年	7月13日	最近のARTラボに関する話題提供 (ARTの各工程の精度改善の取り組み)	NHK研究会	神戸市内
2016年	平成28年	8月18日	効率的な受精卵作出の試み (ARTの各工程の精度改善の取り組みより)	院内セミナー	厚仁病院
2017年	平成29年	7月1日	最近のARTラボに関する話題提供 (ARTの各工程の精度改善の取り組み)	2017年 長野県胚培養士会	菜の花マタニティクリニック
2018年	平成30年	2月11日	これからのARTラボを取り巻く状況と胚培養士に望まれること	第19回東北ART研究会	江陽グランドホテル
2018年	平成30年	2月16日	Trend of Japan ART ～ART In Wonderland～	扶桑薬品工業院内セミナー	扶桑薬品工業 岡山営業所
2018年	平成30年	6月27日	ART Labiにおける継続的な質の改善 ～Vienna consensusのKPIsをクリアするために～	第19回高知県生殖医療懇話会	高知医療センター
2018年	平成30年	10月3日	ART Labiにおける継続的な質の改善 ～Vienna consensusのKPIsをクリアするために～	院内セミナー	つばきウィメンズクリニック
2018年	平成30年	10月27日	ART Labiにおける継続的な質の改善 ～Vienna consensusのKPIsをクリアするために～	第21回 日本IVF学会	名古屋マリットアソシアホテル
2018年	平成30年	11月17日	ART Labiにおける継続的な質の改善 ～Vienna consensusのKPIsをクリアするために～	院内セミナー	いわき婦人科内科
2019年	平成31年	3月24日	妊孕性温存 ～当院でのヒト卵凍結の現状～	第15回 A-PART	ハイアットリージェンシー東京

【座長】

西暦	和暦	月日	学術大会名	セッション名
2005年	平成17年	1月8-10日	日本臨床エンブリオロジスト研究会 10周年記念大会	Round Table Discussion
2005年	平成17年	8月4, 5日	第23回 日本受精着床学会	Round Table Discussion (RTD2-17:『胚盤胞の培養液選択』)
2005年	平成17年	9月17, 18日	第8回 日本IVF研究会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション (胚培養のベーシック)
2006年	平成18年	1月8, 9日	第11回 日本臨床エンブリオロジスト学会	一般講演 座長(5演題)
2008年	平成20年	1月11-13日	第13回 日本臨床エンブリオロジスト学会	
2008年	平成20年	8月2, 3日	第7回 生殖バイオロジー東京シンポジウム	
2008年	平成20年	10月11, 12日	第11回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション、 Poster session
2009年	平成21年	3月20, 21日	第14回 日本臨床エンブリオロジスト学会	シンポジウム「保存-明日のために-」
2009年	平成21年	9月12, 13日	第12回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2010年	平成23年	9月18, 19日	第13回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2011年	平成24年	10月22, 23日	第14回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2012年	平成24年	9月29, 30日	第15回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2013年	平成25年	1月12, 13日	第18回 日本臨床エンブリオロジスト学会	ワークショップ シニアコース
2013年	平成25年	1月12, 13日	第18回 日本臨床エンブリオロジスト学会	ビデオワークショップ テーマ:「ラボワークの実際」
2013年	平成25年	3月30, 31日	第8回 レーザーリプロダクション学会	ポスター発表
2013年	平成25年	8月8, 9日	第31回 日本受精着床学会	一般演題 凍結融解②
2013年	平成25年	9月7, 8日	第16回 日本IVF学会 (Pacifico 横浜)	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2013年	平成25年	11月15, 16日	第58回 日本生殖医学会	一般演題 凍結保存1
2014年	平成26年	1月11, 12日	第19回 日本臨床エンブリオロジスト学会	シンポジウム「胚発育データからみた培養液選択のエビデンス」
2014年	平成26年	4月4-6日	第5回 ASPIRE (Brisbane)	Free Communication
2014年	平成26年	7月31日、8月	第32回 日本受精着床学会	ワークショップ「日々のART臨床における工夫<ラボラトリー編>」
2015年	平成27年	1月10, 11日	第20回 日本臨床エンブリオロジスト学会	「エンブリオロジストに必要な基本統計学」 ～データをうまくまとめるために～
2015年	平成27年	1月10, 11日	第20回記念 市民公開講座	「エンブリオロジスト20年の足跡と未来への一歩」
2016年	平成28年	1月8-10日	第21回 日本臨床エンブリオロジスト学会	Senior course modelator
2016年	平成28年	3月12, 13日	第11回 日本レーザーリプロダクション学会	Hand's on Workshop of blastocyst biopsy
2016年	平成28年		第34回 日本受精着床学会	一般演題
2016年	平成28年		第15回 生殖バイオロジー東京シンポジウム	一般演題
2016年	平成28年		第19回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2017年	平成29年	1月	第22回 日本臨床エンブリオロジスト学会	Senior course modelator
2017年	平成29年		第25回 日本受精着床学会	一般演題
2017年	平成29年		第16回 生殖バイオロジー東京シンポジウム	一般演題
2017年	平成29年		第20回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2018年	平成30年		第23回 日本臨床エンブリオロジスト学会	Senior course modelator
2018年	平成30年	7月27日	第36回 日本受精着床学会	モーニングセッション
2018年	平成30年	8月19日	第17回 生殖バイオロジー東京シンポジウム東京シンポジウム	一般演題
2018年	平成30年		第21回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション
2019年	平成31年	1月13日	第24回 日本臨床エンブリオロジスト学会	特別講演座長
2019年	令和元年	8月2日	第37回 日本受精着床学会	シンポジウム
2019年	令和元年	9月8日	第18回 生殖バイオロジー東京シンポジウム	一般演題
2019年	令和元年	10月5日	第22回 日本IVF学会	日本臨床エンブリオロジスト学会セッション

【学会役員業務】

開始年月日	終了年月日	学会名	役職名
		日本臨床エンブリオロジスト学会	常任理事
		日本臨床エンブリオロジスト学会	認定試験委員長
		日本臨床エンブリオロジスト学会	副理事長
2010年		日本臨床エンブリオロジスト学会	理事長
1999年1月	2010年11月20日	日本臨床エンブリオロジスト学会	学術雑誌 編集委員長(chief editor)
		日本受精着床学会	評議員
		日本受精着床学会	理事
		日本IVF学会	常任理事
2016年		生殖バイオロジー東京シンポジウム	世話人

【学会員履歴】

入会年		入会月	学会名	特記事項
1992年	平成4年	4	日本繁殖生物学会	
1995年	平成7年	7	日本受精着床学会	
1995年	平成7年	11	日本不妊学会	現、日本生殖医学会
1996年	平成8年	10	日本臨床エンブリオロジスト研究会	現、日本臨床エンブリオロジスト学会
			日本IVF学会	
			日本哺乳動物卵子学会	

【その他】

西暦	和暦	月日	内容	備考
			認定臨床エンブリオロジストの資格取得	
2007年	平成19年	1月13, 14日	第12回 日本臨床エンブリオロジスト学会 総会・学術講演会・ワークショップの開催	岡山大学農学部III号館 岡山大学創立50周年記念
2013年	平成25年	10月1日～	岡山大学ARTセンター 特任教授(project professor)就任	